

第7回 エコアクション講座 船上観察会 ～屋形船でラムサール条約湿地を見に行こう!～ を開催!



2月8日(土)、「船上観察会～屋形船でラムサール条約湿地を見に行こう!～」を開催しました。当日は、子供から大人の方、ご家族やご友人など、40名の方にご参加いただきました。

まず始めに、屋形船の船内で、ラムサール条約湿地である葛西海浜公園の歴史や自然、野鳥などについての解説を聞きました。その後は、デッキの上から双眼鏡を使って野鳥観察を行いました。もうひとつのお楽しみである昼食は、江戸前料理をおいしくいただきました。

参加者からは、「ラムサール条約の名称は聞いたことがあったが、詳しくは知らなかったの、非常に勉強になった」などの感想が多数ありました。

天気にも恵まれ、楽しくラムサール条約を学ぶことができました。



会員向け日帰りバス研修会を実施しました!

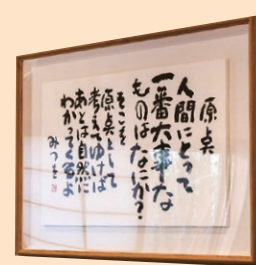


1月25日(土)、えどがわエコセンターの会員向け日帰りバス研修会を実施しました。行先は、栃木県の足利学校とあしかがフラワーパークでした。

足利学校では、観光案内人のガイドにより史跡参観を行いました。参観後は、書家の相田みつを先生ゆかりの店「めん割烹なか川」で昼食をとり、あしかがフラワーパークに向かいました。

あしかがフラワーパークでは、冬咲きボタンやロウバイ、花手水などの作品を見学しながら散策しました。

会員同士の親睦も深まり、大変充実した1日となりました。



寄付のお願い



皆さまからの寄付は持続可能な地域社会づくりに貢献する取り組みに活用いたします。認定NPOへの寄附は税制優遇の対象です。ご希望の方には証明書を送付します。

認定NPO法人 共育・協働の環境づくり
編集・発行 **えどがわエコセンター**

住 所: 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀3階
T E L: 03-5659-1651 FAX: 03-5659-1677
E-mail: edogawa-ecocenter@bz01.plala.or.jp
U R L: <https://edogawa-ecocenter.jp/>
Facebook: <https://www.facebook.com/edogawa.ecocenter>
開館時間: 9:00 ~ 17:30 定休日: 日曜・祝日



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



※機種によっては読み取りづらい場合があります



エコちゃんねる

えどがわエコセンター情報紙 vol.65

March 2025

エコちゃんねる=えどがわエコセンターのイメージキャラクター・エコちゃん+Channel (情報を送る) 2004年7月創刊

ラムサール条約登録湿地 ～葛西海浜公園の魅力～



カンムリカイツブリ



ユリカモメ



スズガモ



ラムサール条約湿地に登録されている葛西海浜公園は、渡り鳥の楽園です。湿地登録の基準を満たす水鳥のスズガモ、カンムリカイツブリ、希少なクロツラヘラサギなどが飛来し、数万羽の渡り鳥が滞在する都内随一の野鳥観察スポットとなっています!



ラムサール条約ってなに？

ラムサール条約は1971年2月2日にイランのラムサールで採択された湿地に関する国際条約です。

正式名称は「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といいますが、採択地にちなみ、一般的に「ラムサール条約」と呼ばれています。

★世界で登録されている湿地 2532か所
★日本で登録されている湿地 53か所

※2025年3月6日現在

近隣では谷津干潟
(千葉県習志野市)が
登録されています。



ラムサール条約の3つの柱

保全・再生

ワイズユース
(賢明な利用)

交流・学習
(CEPA)

大切にする
だけの条約では
ないんだね

持続的に
活用する取組を
進めていきます

ワイズユース(賢明な利用)

ラムサール条約では、地域の人々の生業や生活とバランスのとれた保全を進めるために、湿地の「賢明な利用(Wise Use:ワイズユース)」を提唱しています。

保全・再生

水鳥の生息地としてだけでなく、私たちの生活を支える重要な生態系として、幅広く湿地の保全・再生を呼びかけています。

交流・学習(CEPA)

ラムサール条約では、湿地の保全や賢明な利用のために、交流、能力養成、教育、参加、普及啓発を進めることを大切にしています。

葛西海浜公園は東京都で初めて ラムサール条約湿地に登録されました

葛西海浜公園の干潟は、広大な干潟環境が保全され、人々の様々な営みが豊かな自然と共存していることなどから、2018年(平成30年)10月に国際的に重要な湿地であるとしてラムサール条約に登録されました。



登録認定証

葛西海浜公園は9つの国際基準のうち、次の3つを満たしています。

1. 生活環の重要な段階を支える上で重要な湿地
▶スズガモ、カンムリカイツブリが該当
2. 定期的に2万羽以上の水鳥を支えている湿地
▶ガンカモ類が該当
3. 水鳥の1種又は1亜種の個体群の個体数の1%以上を定期的に支えている湿地
▶スズガモ、カンムリカイツブリが該当

葛西海浜公園はどんなところ？

旧江戸川と荒川の淡水が海水に流れ込む「汽水域」で、2つの人工な島があり、その沖合には、三枚洲(さんまいず)と呼ばれる干潟が広がっています。

毎年、スズガモをはじめ多くの渡り鳥が飛来します。

干潟はトビハゼなどの魚類・底生生物が生息する重要な場所となっています。



鳥類



クロツラヘラサギ

魚類



クロダイ

底生生物



ヤマトオサガニ

植物



イシミカワ

三枚洲



トビハゼ

えどがわエコセンターの
イベント
ぜひ
ご参加
ください

ワイズユース 船上観察会

屋形船の上から葛西沖や水鳥を観察し、江戸前料理を食べ、ラムサール条約湿地を学びます。※2月に開催した様子は裏面に



保全・再生 東なぎさクリーン作戦

普段立ち入ることができない東なぎさで、漂着ごみなどの清掃活動や自然観察会を実施しています。



交流・学習 魅力発見・探検ツアー

野鳥観察、干潟の生きものの展示、葛西海浜・臨海公園の紹介などを実施しています。

